

## 学校運営協議会の開催について（報告）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく学校運営協議会を、松戸市で初めて、小金小学校に設置しました。第1回の協議会を開催しましたので、報告します。

1. 日 時 令和4年5月27日（金）15時から17時20分

2. 場 所 松戸市立小金小学校コミュルーム

3. 内 容

（1）任命書交付式

（2）コミュニティ・スクールについての概要説明

（3）会長、副会長の選出

（4）令和4年度の学校運営についての説明

（5）委員による意見交換



任命書の交付

4. 委員による意見交換（要旨）

〈家庭の教育力について〉

◇子どもたちだけでなく、大人も学ぶ必要がある。

◇親を対象にした説得力がある講師を招いての講演会も有効である。

◇子どもたちの安全を地域が守っていきたいが、子ども会が縮小傾向にあることが課題である。

◇ゲームやスマホをすることが多くなるのは仕方のないことだが、スポーツや子ども会のつながりの中で、よい経験を積んでほしい。

◇保護者の生活スタイルが多様化（共働き・核家族化等）している。

◇子育てがきちんとできない家庭が生きづらくなってきている。

◇家庭の教育力が落ちているので、地域で補う（地域の大人と関わる）ことが必要である。

◇子どもたちが中心となり地域を盛り上げていくことで、小金小を愛している保護者と小金小を愛している地域を繋げていけるとよい。

◇これまでも小金小は、地域と子どもたちが一緒になって活動してきている。そのことをもっと発信していけばよい。発信力をつける授業内容の工夫も必要である。

◇話し合い活動はもちろん、話し合いのスキルを学ぶ授業も行っているが、小学校でやるべきことがたくさんありすぎるのが現状。

〈子どもたちの自己肯定感を育むことについて〉

- ◇子どもたちが周りにどう思われるかが気になり、自分で決めることができない。
- ◇自分で物事を決めていくには、自分に自信を持てなければならないが、自己肯定感が低く、自信のない児童がいる。育てていきたい。
- ◇自己肯定感を育くむことが大切。できたことを認め続ける必要性が…それをするには、先生方にもっと心のゆとりが必要である。
- ◇チャレンジをするためには自己肯定感が必要である。
- ◇幼稚園や保育園などの小さいときから自己肯定感を育んでいくことが必要である。

〈先生方の働き方について〉

- ◇先生方の多忙化が課題…ゆとりがない
- ◇先生方の負担をやわらげるために地域や保護者ができることの検討が必要である。ボランティアで〇付けや地域の方々の部活動への関わり方の工夫等が考えられる。
- ◇部活を負担に感じる教員もいるが、部活がやりたくて教員になった者もいる。
- ◇部活動を通じて、小学生と中学生が交流していくことで中1ギャップの軽減を図れるのではないかとということも考えられる。



学校より学校運営基本方針の説明



委員による意見交換